

コミュニティ心理学

2 units 2nd-year(2nd semester)

Motohiro Sakai · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) コミュニティで起こっている問題は、面接場面だけでは解決できないものである。コミュニティ心理学においては、クライアントがどのようなコミュニティで生活し、そのコミュニティに適応するためにどのような援助が必要なのかという視点が必要となる。本講義では、コミュニティ心理学の基礎とその応用について理解を深めることを目的とする。

Outline) 本講義では、予防、コンサルテーション、危機介入といったコミュニティ心理学の基礎を学ぶ。その上で、コミュニティ心理学の実際についての理解を深めていく。受講生にグループ発表してもらうことで、受講生に積極的な授業参加の機会を提供する。

Keyword) *community psychology, clinical psychology*

Relational Lecture) “**Psychology of learning**”(0.7), “**社会心理学**”(0.4), “**心理学実験実習 I**”(0.3)

Notice) 授業で配布した資料はホームページにて公開するので、授業を欠席した場合など適宜参照すること。

Goal) 予防教育、治療的介入、社会復帰支援という一連のプロセスについて理解し、柔軟な心理的援助を行うための知識を身につけることを目標とする。

Schedule)

1. ガイダンス:コミュニティ心理学的関与のプロセス
2. コミュニティ心理学とは何か?
3. コミュニティ心理学の背景理論
4. 予防
5. 危機介入
6. 臨床心理面接の初期
7. 臨床心理面接の中期
8. 臨床心理面接の後期
9. 社会復帰支援
10. 非専門家による支援
11. 訪問による支援
12. 非対面式による支援
13. ひきこもり:実態と心理学的理解
14. ひきこもり:コミュニティ心理学的介入
15. 期末試験
16. 総括授業

Evaluation Criteria) 出席、受講態度、発表、レポート、期末試験により総合的に評価する。

Re-evaluation) 原則として再試験は実施しないが、受講者の事情によっては追加レポート等により可否の判定を行うこともある。

Textbook) 教科書は使用しない。資料は授業中にプリントを配付する。参考図書などは適宜紹介する。

Reference) 植村勝彦(編) 2007 コミュニティ心理学入門 ナカニシヤ出版 2400円

Webpage) <http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/motohiro/index.html>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218664>

Contact)

⇒ Sakai (+81-88-656-7191, motohiro@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日 2 限目)

Note) 毎年開講